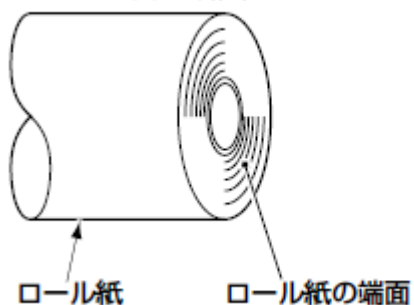


◆ロール紙を使用する場合の注意点

① ロール紙は必ず端面が揃っているものをご使用ください。

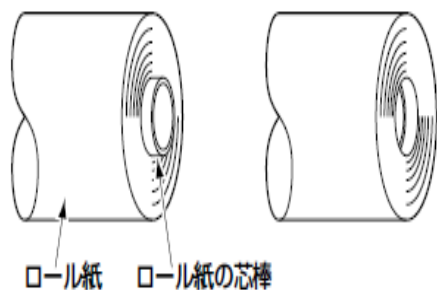
端面がそろっていないロール紙を使うと「スプールホルダー」で左右からしっかりと抑えられない為に用紙がぐらついたり、数メートルの印刷でも用紙が斜行してしまい紙詰まりを起こす原因となります。

<ロール紙の端面がそろっている>

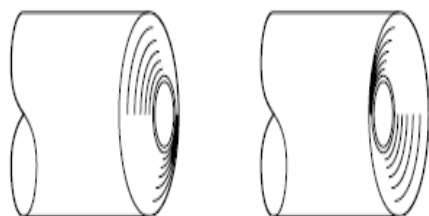


以下のようなロール紙はご使用を控えてください。

<ロール紙の芯棒が端面からずれている>



<ロール紙の巻き取りが乱れている>



② 厚さは普通紙 64g/m² トレーシングペーパー75g/m² のものをご使用ください。

弊社の純正ロール紙は上記仕様の厚さのものを販売しております。

③紙管は内径 2 インチ(約 5cm)をご使用ください。

内径が合っていないと用紙がしっかり固定できずに、用紙送りがスムーズに出来ないことがあります。

※3 インチ紙管を使用して印刷される方へ

- ・必ず標準付属品(3 インチアダプタ)を使用してください。
- ・対象機種は JW330/JW331/JW350/JW500/JW501/JW550 の 6 機種のみとなります。
- ・上記以外の機種は対応しておりませんので予めご了承ください。

④紙管は紙素材のものをご使用ください

紙管の材質によってはすべりやすいものがありスプールホルダーでうまく固定できないことがあります。必ず紙素材のものをご使用ください。

⑤50m 巻き以下のロール紙をご使用ください。

50m 以上のものを使用した場合は用紙がうまく送れない等や紙詰まりをおこす原因になります。また、スプールホルダー等の破損の原因ともなります。

⑥定型サイズを超える長尺印刷を行う時の注意事項について

長尺印刷は最大 18m(ロール紙)まで出力が可能ですが、この長さの長尺印刷を保証するものではありません。使用環境(温湿度、印字率、用紙種類等)によっては紙詰まり/用紙の浮き/ヘッドタッチ等が発生することがありますのでご注意ください。

⑥用紙の巻き癖による不具合について

ロール紙の残量が少なくなると用紙の先端のカール(巻き癖)がきつくなり、使用環境(環境温湿度、印字率、用紙種類等)により紙詰まりの他、印刷途中にヘッドタッチや用紙の皺が発生することがありますのでご注意ください。

⑦ロール紙はビニール袋に入れて保管してください

そのままにしておくと、ロール紙は湿気を吸ってしまい、伸縮したり皺が入ったりする現象がおきます。特に 6 月や 7 月の湿気の多い時期に紙詰まりの要因となります。

ロール紙を使わない場合は購入時に入っていたビニール袋に入れて保管してください。

※ビニール袋は捨てずに取って置いてください。